





# 特仕立の修學旅行列車

最初の上京に各校人念

既報一泊二日間の豫定で来る九日出發する事になつた平町第一、第二、第三各小学校六學年児童六百名の日光經由東京への修學旅行の引率者並に附添人の打合せ會は今六日午前十時から第二校作法室に開かれ児童の監督方法其他に就いて種々

# 復興後の昭和人絹は

更に威容を倍加

晝夜兼行の清水組六百名

復興途上にある錦村昭和人絹工場は東京清水組の請負ひて來月二十日迄に工場建築を完成する豫定で清水組員六百名が日下大車輪で就業中であるが焼失した織維工場は鐵骨も九分通り完成本六日より早くも機械の据付に着手し十月頃から一部の操業開始を見る模様で本

# 料理屋女将の一昧と共に檢舉

## 亭主の罪狀

明らかとなり

本日檢事局へ押送さる

既報平町材木町前犯二犯横田凌吉(三)は美人局の嫌疑

二月女兒を分娩させたが同町丹野松次郎(五)に對し妻と百二圓を捲き上げた外本年四月にも同様手段で材木町井上菊松さんを脅喝せんと女を半殺しに殴打「井上

日光着同十時、日光發午後三時三十四分上野着同六時四十分(十日)上野發午後四時半平着午後八時四十五分

北澤榮(マリオロイ)獨唱と二重唱

門寅清子(ス)明日は立模様

門寅清子(ス)明日は立模様

喜多チヨン(アチャコ)福馬

青『仰せにはござりますが  
津田幸次郎はこれまでの御  
吟味について罪状を白狀い  
たしましたか、この儀をお  
伺ひ申します』

助『津田は今以て自白いた  
さぬ』

青『彼が白狀いたさるは  
手前同様おたづねの件に覺  
えなき故と存じます』

助『これ津田、その方は青  
木としめし合せて津川の木  
場信善にて金子を強奪いた  
しその他數々の悪事をかさ  
ねし段小倉庵長次郎の(未)

助「しかば覺えないと申すか、これ幸次郎今日は青木と相がう間にかけるぞ」とかういひ渡した、すると三好ともにこの事の係役高橋小左衛門が

こう間にかかりしと聞き苦痛を察しなげき悲しみ、け  
ては自殺いたさむといいたし  
た、この上にもその方がどう  
う間にかゝらば妻は自殺を  
るであらう、さすればその  
方の伴また娘も慈悲深き

A black and white woodblock-style illustration of a man in traditional Japanese clothing, possibly a samurai or noble, sitting cross-legged and looking down at his hands. He wears a light-colored robe with circular emblems on the chest and a wide belt. The background is dark and textured.

一四〇 厳しく責めろ  
興力三好助右衛門は青木の答弁を聞いて

（作 薔 蔷）  
悟 道 軒 圓 玉  
丸 尾 至 陽  
解 か る  
瓦 の 建 て

者もよく察して居る、罪名を負うて處刑をうけるは殘念なりとそれ故存せぬ知ら

親にわかれ苦しみをうける  
これらもよう考へて見て事  
を殺し我子をくるしめるが

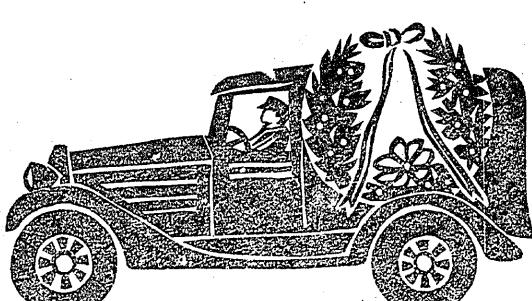
郎今日は津田と共にきび  
きごう間にかけるぞ、それ  
せめろ

**新發賣一文字帽!!**

いつも新らしい 實用新案  
エバー・ニューリー・ストロー  
四菱編 五〇ヨリ  
支那麥編 六〇ヨリ  
お電話次第御覽に入れます

橋本屋造花店 神佛目

—速迅價廉—



卷三六一 雜

五月 節句 御祝品賣

形人考證

四

卷之三

## トクセ機具道陣

スガノヤ提灯店